

○工事内訳明細書の作成について

1. 改修する範囲（面積・長さ等）がわかるように記載してください。
2. 一式明細ではなく、数量を記入し、できるだけ材料と手間を分けてください。
3. 下地の補修を含む場合は、できるだけ具体的に記入してください。
4. 既製品を使用する場合は、メーカー名（製品名）品番等を記入してください。
5. 解体工事を伴う場合は、廃材処分費を明記してください。
6. 設計料・申請書類作成料などは、給付対象とはなりません。